

郵便局の「きめ細やかさ」に期待

自見はなこ参議院議員(自由民主党)



——新型コロナウイルス感染防止に奔走されていらっしゃると思いません。自見はなこ参議院議員

厚生労働大臣政務官として、また、1月下旬に厚労省内に設置された新型コロナウイルス対策本部の本部長代理

を拝命した。今回、郵便局の方々含め、国民の皆さまに職場での衛生管理・外出自粛を要請するなど社会活動で大きな影響がある中で感染拡大防止に尽力いただいている。2月上旬に3週間、ダイヤモ

ンドプリンセス号に乗船し、船内での活動に当たった際も郵便局の皆さまには医薬品搬送など様々な部分で助けていただいたことに深く感謝申し上げたい。

5月6日まで緊急事態宣言が継続される中で厚生省は感染拡大の動向などを注視しているが、同時に労働を司る省庁として雇用に対する影響も非常に甚大になってきたと認識している。政府は生活が厳しくなられた方々に緊急小口資金貸付制度

を創設した。明日からの生活費がなくなりつつある方に緊急的に小口を貸し付けする制度だ。制度に基づいて全国の都道府県の社会福祉協議会(住民参加の福祉活動を推進し、保健福祉上の問題を市民努力で解決する公益性の高い民間非営利団体)が窓口となって貸付を

処理している。労働金庫(労働組合や生協の会員の協同組織型福祉金融機関)にも窓口業務をお願いして、4月22日から順次開始していただき、4月30日からは全国の窓口で行っていたかどうかはなっていないが、このほど日本郵便の方々にも窓口の協力をいただくことになった。

5月中旬以降になると思うが、全国の拠点的な地域の郵便局で緊急小口の窓口受付で大変な尽力をいただくと聞いている。全国津々浦々ある郵便局にしかできない「きめ細やかなサービス」と思い、厚生省も大変に感謝している。今後、感染拡大の防止と雇用の安定維持が大きなテーマとなる中で、郵便局の皆さまとともに頑張ってもらいたい。

——郵便局の公益性を活かす取組みですね。自見議員 郵便局にはマスク配布や、感染拡大防止の亚克力板置いていただくなど本当に様々ご協力いただいております。本当に感謝している。

政治家インタビュー

第4次安倍第2次改造内閣で厚生労働省大臣政務官に任命されたのは医師の自見はなこ参議院議員。自見庄三郎元金融・郵政大臣の意志を継いで、郵政事業に深い想いを抱いている。一方、総務省職員から国会議員となり、国民民主党国会対策委員長代行の奥野総一郎衆議院議員も郵政には熱い想いを持つ。二人の議員に伺った。